

ナンバリング	B⑥02	科目名	卒業演習 「家族理解のためのアセスメント 応用編」		担当教員	佐藤隆司	
ディプロマポリシーとの関連性	③・④		担当形態	単独			
テキスト	適宜紹介。 必要に応じて資料配布。			単位数 授業形態	2単位 演習	開講時期	後期
<p><b>講義概要</b></p> <p>■到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 三世代以上の家族の縦と横の関係に注目して構造的な問題を読み解く視点を習得する。</li> <li>2. 家族固有の特徴と問題と思われる関係を見極め、家族の歴史を掘り下げる視点を習得する。</li> <li>3. 家族理解のためのツールとケースカンファレンスの方法などを理解して実務に活用する。</li> </ol> <p>■授業の概要</p> <p>本授業は、複数の複雑困難な事例を通じて家族問題の背景を掘り下げるとともに、実際の家庭支援における支援方針などに応用する「力」を身に付けることを主眼に置く。 基本は繰り返し、繰り返し事例検討して参加者一人一人の意見を尊重して家族理解の視点を拡大することと、問題の整理・評価（アセスメント）の方法と支援方法に関して考察する。 なお、授業の進捗状況等により、若干、前後することもあり得る。</p> <p>■授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>第1回 事例検討（虐待、非行、親の問題行動、夫婦・家族関係など）①</li> <li>第2回 事例検討（虐待、非行、親の問題行動、夫婦・家族関係など）②</li> <li>第3回 事例検討（虐待、非行、親の問題行動、夫婦・家族関係など）③</li> <li>第4回 事例検討（虐待、非行、親の問題行動、夫婦・家族関係など）④</li> <li>第5回 事例検討（虐待、非行、親の問題行動、夫婦・家族関係など）⑤</li> <li>第6回 事例検討（虐待、非行、親の問題行動、夫婦・家族関係など）⑥</li> <li>第7回 フィールドワーク① 祖父母、親世代の理解</li> <li>第8回 フィールドワーク② 祖父母、親世代の理解</li> <li>第9回 ケースカンファレンスの実際①</li> <li>第10回 ケースカンファレンスの実際②</li> <li>第11回 ケースカンファレンスの実際③</li> <li>第12回 ケースカンファレンスの実際④</li> <li>第13回 卒業レポート①</li> <li>第14回 卒業レポート②</li> <li>第15回 学びの成果発表会のための整理</li> </ol> <p>■準備学習</p> <p>前回授業の復習と次回授業の予習。 「分からない」は「(何が)分からない」と明確化して授業に取り組むこととする。</p> <p>■評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業参加（授業中・施設見学などの意欲・態度） — 40%</li> <li>・卒業レポート（提出期限厳守） — 40%</li> <li>・課題（提出期限厳守） — 20%</li> </ul>							
参考文献	厚生労働省雇用均等・児童家庭局「児童相談所運営指針」平成28年9月29日改正版 厚生労働省雇用均等・児童家庭局「子ども虐待対応の手引き」平成25年8月改正版 M・マクゴールドリック+R・ガートン+S・シェレンバーガー著／石川元+佐野祐華+劉イーリン訳『ジェノグラム（家系図）の臨床』ミネルヴァ書房、2009年 早樫一男「対人援助職のためのジェノグラム入門 家族援助と相談援助に役立つツールの活かし方」中央法規、2016年			特記事項	【留意事項】 ・一部、画像、DVDなどを題材にディスカッションするため積極的発言を期待する。 ・フィールドワークの交通費などは自己負担。 ・私語、飲食、化粧、途中退室、電子機器使用などは禁止。 【課題等へのフィードバック方法】 ・適宜レポートの内容に関してコメントする。		
卒業・免許状・資格との関連	卒業必修			幼保			
実務経験のある教員等による授業内容							